

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Gripキッズ習志野校		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日 ～ 2026年 2月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日 ～ 2026年 2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週ごとに行っているアクティビティーの種類が多さや、イベントの充実。	毎週ごとに異なるGrip独自の活動プログラムを考案し提供している。学習系や、運動・クイズ式等児童たちが毎回楽しめるよう工夫しています。 また、土曜日や祝日等は、お出かけイベントや食育・理科実験の活動も行っている。	既に、多くのアクティビティーの種類はありますが、通所している児童の特性に合わせ、より拡充をしていく。
2	こどもや保護者との意思疎通および情報伝達において、個々の特性や状況に応じた配慮が十分になされている。	送迎時のお話や、連絡帳やLINE、電話等、複数の手段を活用し、保護者が状況に応じて情報を受け取りやすい体制を整えている。  職員同士でも毎日の朝礼での共有や、常に意識を向けてコミュニケーションを取っています。	職員同士の情報共有ルールの細分化を図り、共有事項の内容が埋もれない様に徹底していく。  今後は、ICTツール（アプリ等）を活用し、情報共有や双方向のやり取りを強化していくことも検討していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の機会が少ないことや、兄弟向けのイベントや兄弟同士の交流の機会も少ない。	日々の療育や送迎業務が優先され、保護者会や交流イベントの企画・運営に割ける時間や人員が不足している。	アンケート等を実施し、希望者の方がいた場合、参加しやすい時間帯や希望内容を事前に把握して開催を検討します。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があまりない。	日々の療育活動で時間が埋まり、外部交流の企画まで話がでない状況でいます。 また、活動の安全面やトラブルがあった際の対応への懸念から慎重になっている。	ご希望があった際は、小規模の合同活動から取り入れて、段階的に実施できればと考えています。
3	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングなど）や家族でも参加できる研修や情報提供の機会が少ない。	説明時などに特にお話をしておらず、対応ができなくなってしまっている。また、専門的知識を持った職員が少なく現状、継続して行うことは難しい。	事前アンケートを実施し、保護者ニーズに沿った内容を企画する。